

《企業紹介》

同社は小売業でベトナム最大の企業グループである。スマートフォンなどのモバイル情報機器を販売するテージュイードン (TGDD)、家庭用電気製品を販売するダイエンマイサイン (DMX)、ベトナム南部を中心に小型食品スーパーを展開するバックホアサイン (BHX) の3つの小売チェーンを中心に小売業を展開している。近年では医薬品小売事業 (アンカン) やマタニティ用品 (アバキッズ) へ進出するなど、業態の多角化にも積極的に取り組んでいる。

《2026年1-3月期業績》

2026年1-3月期の売上高は前年同期比28.6%増の46.4兆VND (ベトナムドン) となった。所得水準の向上による中間層の購買意欲増進によって情報機器や家電製品などの耐久消費財の需要が増加したことに加え、分割払いなどの支払方法の多様化に取り組んだことが市場シェアの拡大に繋がったことから、TGDDとDMX合計の売上高は同33.7%増の32.4兆VNDと大きく伸びて全体を牽引した。BHXを中心とするその他事業の売上高は同19.0%増の14.0兆VNDとなった。BHXの店舗数を同41.8%増の2,839店舗に増やすなど、積極的な出店攻勢をかけて増収を達成している。

粗利益率は同1.0%ポイント上昇の20.9%となり、粗利益は同34.9%増の9.7兆VNDとなった。TGDDとDMXの店舗数は合計で同0.8%減の3,020店舗だったので、既存店売上高が大きく伸びたと考えられる。TGDDとDMXの店舗の生産性向上が、その他事業の先行投資負担を吸収し、粗利益率を上昇させたと考えられよう。

税前利益は同72.0%増の3.3兆VNDとなった。販売費が同20.0%増の5.2兆VND、一般管理費が同25.4%増の1.5兆VNDと抑制的だったことに加え、金融収支の受取超過額が前年同期の3,543億VNDから4,361億VNDに増加したため、税前利益は粗利益の増加ペースを上回る増益となった。純利益は同75.6%増の2.7兆VNDとなった。ベトナム経済の拡大に伴う事業環境の好転を利益成長に着実に結びつけている状況が続いているといえるだろう。

図表1 四半期業績の推移 (単位 十億VND)

	2025年1-3月期		2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	36,135.0	14.8	37,620.0	10.2	39,852.5	16.7	42,850.4	23.9	46,462.0	28.6
粗利益	7,200.4	7.3	7,568.7	3.6	7,478.2	8.5	8,046.2	22.2	9,710.1	34.9
(売上総損益率%、%ポイント)	19.9	-1.4	20.1	-1.3	18.8	-1.4	18.8	-0.3	20.9	1.0
金融収支(マイナスは収入)	-354.3	-	-366.4	-	-398.3	-	-445.9	-	-436.1	-
販売費	4,403.0	-8.7	4,703.3	-7.0	4,570.8	-5.7	4,942.1	-3.5	5,284.9	20.0
一般管理費	1,214.6	39.9	1,201.7	47.7	1,119.4	15.7	1,060.4	15.7	1,523.2	25.4
税前利益	1,934.7	60.4	2,028.2	33.8	2,172.4	103.4	2,501.2	141.6	3,327.6	72.0
純利益	1,545.9	71.3	1,648.1	40.6	1,770.9	121.3	2,070.6	144.5	2,714.4	75.6

出所 各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20260514

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

モバイルワールド (MWG)



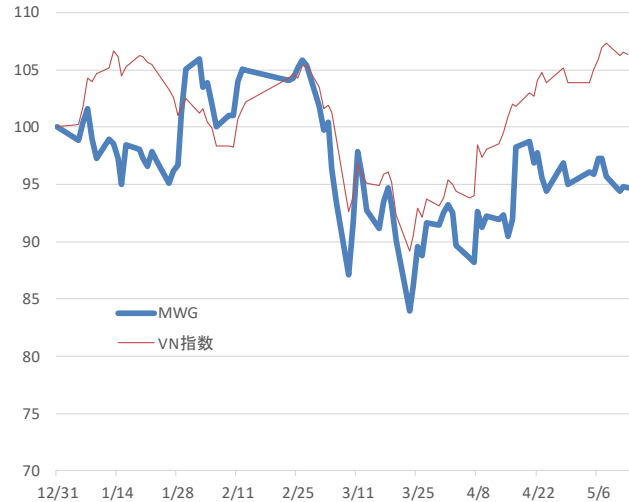
《株価の動向》

図表2は同社の株価とVN指数の2025年末終値を100として指数化したものである。同社の株価は概ねVN指数と連動して推移してきたが、4月下旬以降はやや遅れをみせている。5月13日時点の2025年末比変動率はVN指数が6%の上昇となっているが、同社が同5%の下落となっている。5月13日終値83,700VNDで計算した同社の時価総額は122.9兆VNDで、これは2025年12月期の純利益実績7.0兆VNDの18倍となっている。

同社は、2026年12月期の売上高を前期比18.2%増の185兆VND、税引後利益を同30.0%増の9.2兆VNDと計画している。2026年1-3月期実績の進捗率は売上高が25%、税引後利益は30%となっており、計画の進捗は順調といえるだろう。

ベトナム経済の拡大と独自の販売戦略にサポートされたTGDDとDMXの好調に変化がなく、ここを軸とした利益拡大の可能性は引き続き株価パフォーマンスの下支え要因となるだろう。一方、BHXを中心としたその他の小売事業は、次の成長ドライバーとして積極的な出店攻勢を再開したとみられ、その成否が今後の株価パフォーマンスに大きな影響を与える可能性がある。BHXの主戦場となる日用品や食料品の小売事業は厳しい競争が想定され、同社もかつて拡大戦略の休止に追い込まれた経緯があることから、今後の四半期決算でこの分野の動向を厳しくチェックする必要があるだろう。

図表2 株価推移



出所 各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
 主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20260514

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。